

Museum Team
Annual Report
2024

vol.2

森のこども館×松戸市立博物館
はらぶつがらんちー

はくぶつかんチームは？

森のこども館と松戸市立博物館は連携して「はくぶつかんチー
ム」を結成しました。松戸市内の小学生を対象にメンバーを募集し、
博物館の学芸員が講師となって、1年間を通じて歴史と文化を自
分の手で確かめながら学ぶプログラムに挑戦します。

1年間の活動を通じて、「学ぶことは楽しいこと」「博物館はおも
しろい場所」だと伝えていくことが目標です。

令和6年度の活動

第1回	6月16日(日)	縄目もようのヒミツ
第2回	8月18日(日)	石蒸し料理つくろよ!
第3回	10月20日(日)	展示をみにいこう!
第4回	12月22日(日)	なぜ大きな木の実をひろうのか
第5回	2月16日(日)	1年間のふりかえり

第1回 縄目もようのヒミツ

2024年6月16日(日)

はくぶつかんにある土器にはでこ
ぼこのもようがついています。これは
ねんどに縄をころがしてつけたものだ
と知っていますか？

土器をよくかんさつすると、縄目も



ようにも右あがり^{みぎ}と右さがり^{みぎ}、大きなつ^{おお}
ぶと小さなつ^{ちい}ぶなど、ちがいがあるこ
とがわかります。

じつは、ころがす縄^{なわ}のより方^{かた}によっ
てもようが変^かわるということがわかっ
ています。本当^{ほんとう}でしょうか？自分^{じぶん}で縄^{なわ}
をつくってたしかめることにしました。



じっけんのけっか、縄^{なわ}をよる向き^むを
変^かえると、縄目^{なわめ}もようが右あがり^{みぎ}になっ
たり、右さがり^{みぎ}になったりすることがわ
かりました。

縄目^{なわめ}もようは土器^{どき}だけでなく、土偶^{どぐう}
や土版^{どばん}など、ねんどでつくるさまざま
どうぐにつけられました。

そこで、つくった縄^{なわ}をつかって、すき
なもようをつけた土版^{どばん}をつくってみる
ことにしました。

2週間^{しゅうかん}ほどかんそうさせてから焼^やき
上げると、世界^{せかい}にひとつだけのオリジ
ナル土版^{どばん}のかんせいです！

「エ片反を作るのは大へんでした。
むかしの人ほこんなにどきを作って
たいへんだったと思います。
むかしの人ほ大へんなのにどきを作
るところがすごいと思いました。
私は楽しかったです。
もういっちょ作りたいです」

縄のしるし

二週間...長っ!
(二週間じゃないとでせない人
だっ!)



第2回 いし お りょうり 石蒸し料理つくるよ!

2024年8月18日(日)

なべ(土器)がはつめいされる前の
きゅうせつ き じ だい ひと旧石器時代。人びとはどうやって食べ
もの りょうり物を料理したのでしょうか。ほうほう
のひとつが石蒸し料理です。本当にな
いし む りょうり ほんとうべをつかわずに肉や野菜を料理する
にく や さい りょうりことができたのでしょうか?ためして
みました。

まずはたき火で石を焼きます。



そのあいだに、下ごしらえをして
したおきます。今回はベーコンとサツマイモ
こん かいをつかいました(どちらも旧石器時代
きゅうせつ き じ だい



の日本にはまだないのですが…。大
に ほんきな葉(ホオの葉)でくるんで、ひもで
は はしばっておきます。

じゅんぴができれば、じめんにあさ
あない穴をほって、たき火でアツアツにな
いしった石をならべます。葉っぱでくるん
た ものだ食べ物をのせ、しめらせた新聞紙
しんぶん しをかぶせてから土でうめます。
つち



そのまま20～30分ほどおいておく
と、石はすぐには冷めないで、食べ物
が蒸し焼きになります。このほうほう
なら、なべがなくても、肉や野菜をこ
がさずにかねつすることができます。

20分後、うめたばしょの土をさわっ
てみると、ほんのりあたたかく、少しゆ
げもでています。

まだあつい石にさわらないように気
をつけながら、土をほっていくと、こ
うばしいかおりがしてきます。

食べ物をくるんだ葉は少しこげて
います。中のベーコンとサツマイモは
どうなっているのでしょうか？

ひらいてみると、ベーコンもサツマ
イモもしっかり火がとおっているよう
です。石へのあたりぐあいによって焼
きかげんがちがうようです。カリカリに



なったベーコンもありました。

食べてみると、ベーコンはジューシ
ー、サツマイモはホクホクでおいしく
焼けていました。

じっけんのけっか、旧石器時代のほ
うほうでちゃんと料理ができることを
たしかめられました。

少しこげていたけれど、
おいしかったよ！（実ははかせ
の物はすごくこげていました㊦）



おしたたばしょの土でベーコン
やサツマイモなどを焼い
た。くるんで糸でますんで
石の上においたら、おい
しくできあがりしました。ハ
カセのやり、まっくらこげ。

「むす」のは人間にとって
とてもいいことなんだって！



第3回 てんじ 展示をみくにう!

2024年10月20日(日)

はくぶつかんの^{てんじ}展示には、^{てんじ}展示をつくった^{がくげい}学芸員のこまかい^{たの}こだわりが
つめこまれています。そんな^{たの}こだわりを
さがすのもはくぶつかんの^{たの}楽しみか
たのひとつです。

今回は^{こんかい}松戸市立博物館で^{まつど}かいさい
い中の^{ちゅう}企画展「^{きかくてん}異形土器 ^{いけいどき}縄文時
代の^{だいい}不思議な^{ふしぎ}うつわ」を、^{がくげい}学芸員と
いっしょに^{てん}みにいきました。まずは^{てん}展
示の^{てん}テーマを^{てん}せつめいしてもらいます。



いま^{いま}から3,700年^{ねん}くらい^{まえ}前の^{じょうもん}縄文時
代^{だい}には^{かたち}ふしぎな^{いけい}形の「^{どき}異形土器」が
たくさん^{みず}つくられました。あなが^{みず}あいて
いて、^{どき}水を^{どき}いれることは^{どき}できなさそう
です。どうして^{てん}へんてこな^{かんが}土器が^{かんが}つくら
れたのでしょうか? ^{てん}展示を^{かんが}みながら^{かんが}考

えてみましょう。

この^{てんじ}展示では、^{どき}土器を^{どき}じっくり^{どき}かん
さつしてもらえるように、ワークシート
が^{どき}ようい^{どき}されていました。みんなで^{どき}か
だいの^{どき}土器を^{どき}さがして、^{どき}そう^{どき}だん^{どき}しな
がら^{どき}チャレンジ^{どき}しました。



^{どき}土器の^{かず}あなの^{かず}数や、^{かず}角の^{かず}数を^{かず}かぞ
えるのが^{かず}ワークシート^{かず}のか^{かず}だいです。
^{なか}中には^こ20個^こい^こじょうも^こあなが^こあいて
いる^{どき}へんてこ^{どき}な^{どき}土器^{どき}も^{どき}あったので、^{どき}い



ろんなほうこうから土器^{ど き}をかんさつして、あなをかぞえなければなりません。

この展示^{てん じ}のこだわりポイントのひとつは、土器^{ど き}の3Dモデルがみられるようになっていることです。スマートフォンでQRコードをよみこむと、うらがわ^{てん じ}などの展示ではみえにくいところもかんさつできました。



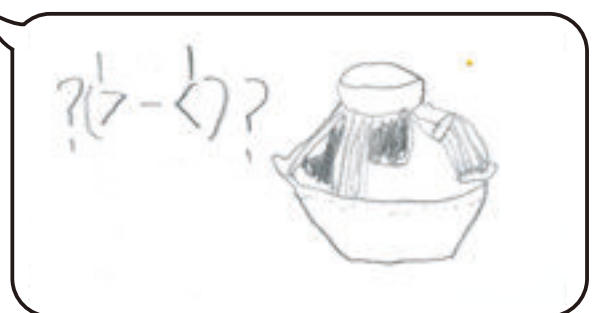
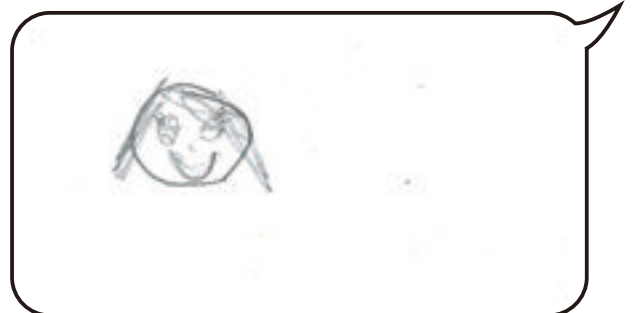
それにしても、どうしてふしぎな形^{かたち}ばかりなのでしょう？ぎもんがあるときは、学芸員^{がく げい いん}にきいてみましょう。

じつは学芸員^{がく げい いん}にも、^{かたち}「なぜこの形なのか？」はわからないそうです。たしか^{かたち}なことは、へんな形にもルールがあった^{おな}ことです。同じルールで土器^{ど き}をつくるグループがあって、土器^{ど き}はなかまのしるしだったのかもしれない。

わかっていることと、よくわからない

ことをきちんとわけてせつめいすること^{がく げい いん}も学芸員のこだわりだそうです。

さいごにはみんなワークシートをかんせいさせることができたので、「こども土器博士認定証^{ど き はかせ にんていしょう}」をもらいました。



第4回 おお き み なぜ大きな木の実をひろうのが？

2024年12月22日(日)

じょうもん じ だい ひと 縄文時代の人びとはトチノキの種
をたくさん食べていました。しかし、ト
チノキはアクが強く、食べられるように
するためにはとても手間がかかります。
なぜ、めんどくさいトチノキをたくさ
ん食べたのでしょうか？じっけんをし
てかんがえてみました。

トチノキと小さなドングリ(スダジイ)
を10秒間でどのくらいひろえるのか、
かず数とおもさをくらべてみると、つぎのよ
うなけっかになりました(4組のへいき
ん)。



10秒間がいがいとみじかく
縄文時代の人たちはホレホレ
しながら、それでトチノキや
スダジイをとって食べたのか
たいへんなのがおもしろい!!

スダジイ: 100 個、87 g
トチノキ: 14 個、210 g

トチノキは同じ時間ひろえば、小さ
な木の実より数は少なくても、たくさん
の食べ物が手に入る、お得な木の実
であることがわかりました。だから縄
文時代の人びとにとっては、めんどく
さいアク抜きをしてでも食べるかちがあ
ったのです。



10秒間でトチノキを15個、スダジイを250
gくらいひろえた。量えるのがかん
たんだった。スダジイがたぶん
おちてた。